

やはり疑ってしまっていました。

4月から日曜・祭日に自宅のリフォーム！約2ヶ月がかりでやっと先日完成しました。6畳・8畳（押入れ付）と4畳半の3部屋を改造しました。使っている部屋の改造なので荷物を移動しながら、クロス貼り以外は、自分一人での作業だったのでちょっと大変でしたが（設計・大工・電気・他などなど）ときどき子供が助手をしてくれました。

6畳と8畳は、続きの和室でしたが、襖と押入れを外し2部屋の洋室フロアリング。間取り変更で6畳と5畳半クローゼット付の部屋にしました（一部廊下）。2部屋の内装が仕上



がり荷物の片付けが終わった時点で、ほっと一息ついたのが悪かったのか、何と無く工事意欲が無くなり4畳半の部屋は、床と壁の一部だけと思いながら工事をしていたのですが、補修程度で天井を済ますつもりが、何と無くワンポイントつけたいと思いドーム天井に……。クロス選びは子供にと思っていましたが、結局自分が選んでしまいこんな感じになりました。明るい時と暗くした時には模様が変わる蓄光クロス貼り、天井は夜空で壁は星座模様です。ちょっとくいとの家族評価ですが自分では満足しています。一度見学に来て見てください。

もう設置しましたか？

消防法の改正により住宅用火災警報器等の設置・維持が義務つけられました。佐久広域連合消防地域では、平成21年5月31日までに現在居住している住宅に設置が必要となり設置場所としては、**寝室・一定の階段及び廊下**になります。火災に対する日頃の備えとして設置をしてください。当店でも取り扱いをしています。

H21年
ビンゴ第4回



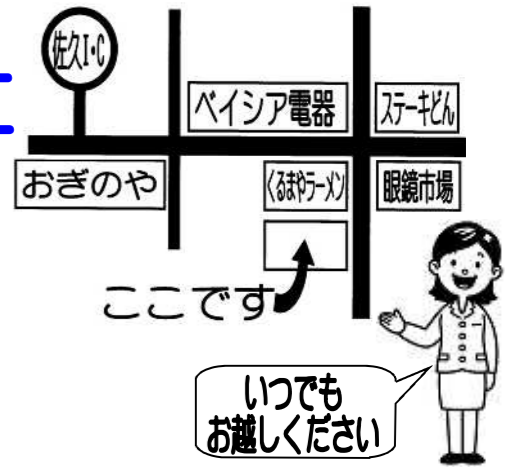
3・33・49・56・73・?

発表数字5個+1個になります。プラス1個は、新聞の中に掲載していますので、お見逃しなくご覧ください！



リフォームもできる身近な水道屋さん
浅間設備工業株式会社

☎ 0267-67-4130
 ☎ 080-5108-1593
 FAX 0267-68-5831
 E-mail info@asamasetubi.co.jp
 住所 佐久市岩村田住吉町159-3



いつでも
 お越しください

「水の国」に生きる私たちにできること

頭に大きな壺を載せ、砂ぼこりの立つてこぼこ道を1時間以上かけて井戸に水を汲みに行く子どもたち。その井戸もないせいで水が枯れ、仕方ないのでさらに川まで歩き、浮遊物の漂う川の水で壺を満たして再び帰路に着く。貧困にあえぐアフリカの国々をさらに苦しめる水不足問題は、年々深刻さを増しています。

一方、我が国日本は「水の国」と言われています。まもなく終わる梅雨があり、川には豊かな量が水が流れ、雨の少ない年は水不足が問題になるとしても、命に関わるほどの深刻さを感じることはありません。

それゆえに、「水の国」と言われる日本が、実は世界でも

有数の水輸入大国だと知らず驚く方も多いでしょう。世界的な水不足問題は、対岸の火事ではありません。

日本の食糧自給率は現在、カロリーベースで約40%。大半の食糧を海外からの輸入に頼っている状況です。それらの輸入食糧を仮に国内で生産するとしたら、どのくらいの水が必要か。この考え方を「ヴァーチャルウォーター（仮想水）」と言います。

日本が必要とするヴァーチャルウォーターは年間約640億m。言い換えれば、日本は年間約640億mの水を輸入しているのです。

国の調査によれば、日本人一人当たりの一日の水使用量は320。この数字は昭和

三十年代の2倍だそうです。主要先進国の中では4番目に使用量が多く、世界平均の2倍もの水を毎日使っていることになりました。

ところが、降水量から算出した一人当たりの再生可能な水資源量は世界で82番目。世界平均の6分の1しかありません。年間降水量こそ約1700ミリと世界平均の2倍でも、狭い国土に人口が密集していること、降った雨が急勾配の川を一気に海まで流下する地形から、人の生活を支えるだけの水を確保するのは簡単ではないそうです。

それでも一日320もの水を使えるのは、最先端の水技術に加え、大量のヴァーチャルウォーターによって間接的に「節水」しているからな

のです。

水道の蛇口をひねれば飲み水が出る生活を当たり前に見受けている日本人は、水が生命の源であることをなかなか実感できません。けれど世界には、泥水に近い川の水を飲むしかない人たちがたくさんいます。水の使用量が増えるこれからの季節に、改めて水の大切さと使い方を考えてみたいものです。

